検定試験の自己評価シート

自己評価実施日：2025年5月29日

検定事業者名： 特定非営利活動法人日本ニュース時事能力検定協会・株式会社毎日教育総合研究所

検 定 試 験 名： 日本ニュース時事能力検定試験

【5段階評価の目安】
Ａ：十分達成されている　Ｂ：おおむね達成されている　Ｃ：一部達成されている　Ｄ：あまり達成されていない　Ｅ：ほとんど達成されていない

大項目	中項目	小項目				中項目別実態・課題・改善の方向性等
			評価項目	実績・理由・特記事項等	評価	
1 実施主体	【評価の視点】 組織としての理念・目的が明確であり、検定試験を継続的・安定的に実施するために必要な組織体制や財務基盤を有するとともに、実施主体自身がPDCAサイクルに基づき、組織的・継続的に事業を改善していく組織となっていること。また、受検者や利用者（学校・企業等）への適切な情報公開と個人情報の保護がなされていること。					
	① 組織	1	○検定試験を実施する組織としての理念や目的が明確である。	広く一般市民を対象として、時事問題に関する検定試験事業等を行い、社会教育の場や国際社会において貢献できる人材を育成し、我が国における文字活字文化の発展及び生涯学習の振興に寄与することを目的とする。その目的を達成するために、特定非営利活動としてニュース時事能力検定試験を実施している。 【N検協会について】https://www.newskentei.jp/a_director.html	A	ステークホルダーとともに、継続的に自己改善できる組織であるように努める。
		2	○検定試験を実施することの社会的使命が明確である。	ニュース時事能力検定試験は、今の時代を生きるために欠かせない、「ニュースを読み解く力」をつける機会を提供する。玉石混交の情報社会で、現代人が必要な情報を正しく取捨選択できる情報感度を高める目安となり、変化の激しい社会で、豊かな人生を歩むための羅針盤の役割を果たしていく。	A	
		3	○検定試験を実施する組織（役職員体制、事務処理体制、作問体制、危機管理体制等）が、検定試験の目的、使命を達成するための組織として適切に構成されている。	■役職員体制 NPO法人においては、理事と幹事の役員で構成され、定款に沿って運営を行っている。常勤の職員は置かず、事務局業務全般を株式会社毎日教育総合研究所が行っている。 ■事務処理体制 事務処理業務全般を株式会社毎日教育総合研究所で行い、一部を外部業者へ委託している。 ■作問体制 複数の作問担当者が、分析と検討を行い、問題を作成している。 ■危機管理体制 各部門ごとの危機管理対応手順を定めている。また、セキュリテイ対策や倫理規定を策定し、必要に応じて見直している。	A	
		4	○手続等に関する問い合わせ、試験後の問い合せ先が設置され、受検願書やホームページ等に適切に公開されている。	各種お問い合わせは、事務局で対応している。お問い合わせ先はパンフレット、ポスター、公式ホームページ、広告等に記載している。 電話：03-5209-0553　受付時間：10:00～17:00（土日祝日を除く） 公式ホームページ：https://www.newskentei.jp/	A	
		5	○目標(Plan)－実行(Do)－評価(Check)－改善(Action)というPDCAサイクルに基づき、組織的・継続的に事業を改善している。	現状の課題を抽出し、単年度と中長期の目標を立案する。これをもとに各部門の目標を設定して、オペレーションを開始。進捗状況は、月1回の定例会議で点検していく。中長期の課題については、定期的に検討会議を実施して、具体化に向けた作業へ移行させる。	A	

大項目	中項目	小項目				中項目別実態・課題・改善の方向性等
			評価項目	実績・理由・特記事項等	評価	
1 実 施 主 体	② 財 務	6	○実施主体の財務経理情報を備えている。（検定試験を継続して実施している場合には、複数年分。） （財務経理情報の例） 収支計算書、貸借対照表、財産目録等	■備えている （NPO法人：年度別収支計算書、貸借対照表、財産目録、事業報告書） （共催する株式会社：損益計算書、貸借対照表、株主資本等変動計算書等） ・平成22年度以前のNPO法人の情報は内閣府の「全国特定非営利活動法人情報」に、平成23年度以降のNPO法人の情報は東京都の「法人団体詳細情報」に掲載されている。 【内閣府：https://www.npo-homepage.go.jp/portalsite.html】 【東京都：http://www.npo.metro.tokyo.jp/】	A	業務の効率性を高めつつ、財務諸表の信頼性を確保する。また、法令順守を徹底し、資産の取得・使用・処分が適正に行われるよう、内部統制を強化していく。
		7	○財務経理担当者等に対する内部牽制体制が確立されている。	経理担当者は経理状況を適宜チェックを受けるなど、不正や誤謬を防ぐための体制を敷いている。現預金管理については監査役による定期的な実査が行われている。	A	
		8	○財務経理に関して、定期的または適宜監査を受けている。	■受けている（■内部監査　■外部監査　□その他）	A	
		9	【公益性のある実施主体の場合】 ○検定事業とその他の事業との関係や財務経理情報等の区分けが明確である。	非収益事業についてはNPO法人、収益事業については株式会社毎日教育総合研究所の会計で区分している。	A	
	情報公開・個人情報 ③その他	10	○情報公開する項目や方法などを明確に定めている。	「特定非営利活動促進法」で定められた内容や、検定結果に関する情報等についての公開を行っているが、情報公開の内容や範囲を規定しているものはない。	B	受検者に有用な情報公開に努める。
		11	○受検者の個人情報保護に関する方針やマニュアル等が整備されている。	個人情報の取り扱いについては、公式ホームページやパンフレットに記載している「個人情報の取り扱いについて」の方針に沿って厳格な運用を行っている。業務を委託している外部業者については、プライバシーマークを取得している。個人情報の取り扱いについてマニュアルを作成し、適宜従業員教育を実施している。	A	

大項目	中項目	小項目				中項目別実態・課題・改善の方向性等
			評価項目	実績・理由・特記事項等	評価	
2 実施内容	【評価の視点】 検定試験の目的や内容が明確であり、これらと整合する適切な測定手法や審査･採点の基準等を有すること。					
	① 目的	12	○どのような知識・技能を測るかという検定試験の目的が明確である。	新聞やテレビのニュース報道を読み解くための「時事力」を認定するもので、「時事問題」の理解に欠かせないキーワードや、社会の仕組みと流れについての知識を6段階に分けて測定する。 【ニュース検定とは】https://www.newskentei.jp/a_index.html	A	
	② 内容	13	○検定試験の内容が以下の点で明確で、検定試験の目的にかなっている。 ＜検定試験で測る具体的な知識・技能とその水準＞ 領域（分野）／対象層（受検資格等）／試験範囲／難易度／その他(特色等)	①領域は、政治、経済、暮らし、社会・環境、国際の5領域から出題。②対象層は、各級の目安として受検対象者を明示。受検資格を特に設けていない。③試験範囲は前年度のニュースから検定実施日の約1ヶ月前までに報道されたニュースとしている。なお、公式テキストと公式問題集から約6割出題している。児童・生徒を主な対象としている級では、社会科や公民科の授業で学習する知識を使って取り組めるように配慮している。④難易度は各級の年度別平均合格率等を公式ホームページやパンフレットで公開している。 【検定内容】https://www.newskentei.jp/a_level.html 【受検者データ】https://www.newskentei.jp/a_data.html	A	受検者及び活用する教育機関等にとって、より理解しやすい内容に改善していく。
		14	【学校の単位認定や進学、就職等の際に活用される検定試験の場合】 ○当該検定試験と学校教育や職業能力との関係性が示されている。	5級：小学校中学年程度から中学1年生程度、4級：小学校高学年から中学2年生程度、3級：中学卒業程度から高校生程度、準2級：高校生から大学生・一般程度、2級：高校卒業程度から大学生・一般程度、1級：大学生・一般程度。高校を卒業後、就職時までに身につけるべき能力として準2級、大学を卒業後、就職時までに身につけるべき能力として2級取得を基準としている。【各級の目安】https://www.newskentei.jp/a_level.html 【入試評価優遇校】https://www.newskentei.jp/school_list.html	A	
		15	【学校教育で活用される検定試験の場合】 ○学習指導要領等に準拠していることについての明確な説明等がなされている。	児童・生徒を主な受検対象としている級については、学習指導要領に配慮した出題をしている。4級の場合、中学社会科の公民分野を学習していなくてもこれまでに学習した地理や歴史で学んだ知識を生かして取り組むことができる。3級の場合、中学社会科の公民分野で学習したことを生かして取り組むことができる。準2級の場合、高等学校公民科の「公共」「政治経済」で学習したことを生かして取り組むことができるようにしており、学校教育で活用する上での基準を教員向けのパンフレットに記載している。	A	
2 実施内容	③ 手段	16	○知識・技能の測定手法（筆記試験、CBT試験、実技試験、面接試験等）、審査・採点の基準が適切である。	測定方法として筆記試験を行っている。1級の一部に記述問題がある以外はマークシートで解答する。記述式の採点には複数の採点者で実施している。合否判定は、5～2級は約70点程度、1級は約80点程度の得点で合格と定めているが、過去の受検データや正答率等を考慮して、公正な合否判定を行えるよう調整を行うこともある。	A	測定方法については、教育現場を取り巻く環境や、主な受検者層を考慮した測定方法であるかを常に検討し、必要があれば改善できるよう研究を行う。
	④ その他	17	○試験結果から得られるデータ等に基づき、検定試験の内容や測定手法、審査・採点基準等について、質の確保や継続的な改善を図っている。	検定回ごとに、出題内容や難易度の妥当性、等質性を複数の作問担当者で検討し、次回検定の出題に反映している。これまで実施した検定の各種データ、受検者アンケート、教員等への聞き取り調査から、「測定手法」「審査・採点基準」について、質の確保を担保できるよう継続的に改善を図っている。	A	現行の方法に拘泥されず、より有効な手法の研究開発に力を入れていく。

大項目	中項目	小項目				中項目別実態・課題・改善の方向性等
			評価項目	実績・理由・特記事項等	評価	
3 実施手続	【評価の視点】 事前準備、事後対応を含め、適正かつ公正で透明性の高い検定試験の実施体制を有するとともに、受検手続を明確にした上で目的や内容、規模等に応じた適切な取組を行っていること。					
	① 事前準備	18	○試験の実施規則・要項等の受検手続が定められている。	【個人受検・実施要項】https://www.newskentei.jp/i_apply.html 【団体受検・実施要項】https://www.newskentei.jp/g_index.html その他パンフレットでも案内している。	A	受検者層の低年齢化が進んだため、これまでも検定料の値下げをはじめ、検定実施方法などの変更を行ってきた。今後も、適正かつ公正で透明性の高い検定試験を実施できるよう、状況に応じて機動的な変更を行っていく。
		19	○試験実施前の情報管理対策（情報管理マニュアルの整備や担当者への研修・注意喚起など）が講じられている。 （例） 試験問題、解答等の作成、印刷、搬送、保管	検定問題の作成段階では、その内容に接触できる者は限定されている。 印刷工程や発送作業においても、持ち出しや複写を防止する対策として、入退室時のチェックを厳重に行っている。配送時は受領確認を行い、検定実施までの保管責任者には、施錠できる場所での厳重な保管を義務付けている。以上、関係者には定期的に教育、指導を行い、マニュアル等では実施規定を記載して、遵守されているかチェックシートで確認している。	A	
		20	○受検者に対し十分な出願期間が確保されている。	おおむね1ヶ月半から2ヶ月程度の出願期間を設けている。	A	
		21	○受検料の適正性・妥当性について点検・検証されている。	検定の質を維持し、公平・公正な検定試験を継続的に実施できるために必要な経費を考慮すること、更に経済情勢を鑑み、主な受検者の年齢層に配慮した料金体系としている。	A	
		22	【学校の単位認定や進学・就職等の際に活用される検定試験の場合】 ○児童・生徒等が不利益を被らないように、配慮がなされている。	■全ての児童・生徒に対して公平に情報提供されるよう配慮されている。 N検合格者を評価・優遇する学校の情報を、公式ホームページや生徒配布用パンフレットに記載している。 【入試評価優遇校】https://www.newskentei.jp/school_list.html ■実施時期への配慮がされている。 学事日程等を考慮して日程を設定しているほか、年に最大3回の受検機会を設けている。 ■その他 学校保健安全法に定めた学校感染症、忌引き、部活動の公式大会、進級や入学試験、就職試験に関わる重要事項、公共交通機関の乱れ、天災等の発生を理由に、やむを得ず受検が出来なかった児童、生徒が不利益を被らないような配慮を行っている。	A	
		23	○その他の特記事項等。	インターネットや全国の郵便局、コンビニエンスストア、一部の金融機関などでも申込みの受付を行っている。 学校等で志願者をとりまとめる団体受検では、通常の検定料より500円割引で受検することができる制度がある。	A	

大項目	中項目	小項目				中項目別実態・課題・改善の方向性等
			評価項目	実績・理由・特記事項等	評価	
3 実 施 手 続	② 試 験 実 施	24	○試験監督業務のマニュアル等が定められており、試験実施会場・機関に事前に配付されており、試験監督者等の共通理解が図られている。	検定会場の運営責任者向けと、試験監督向けのマニュアルを作成し、各会場ごとに十分な教育を行っており、各会場で同質の運営ができるようになっている。	A	公正かつ厳正な実施と、より多くの受検者の利便性確保を両立させるため、更に創意工夫を重ねる。
		34	○受検者の本人確認は、顔写真を添付した受験票の用意や身分証による照合など、本人確認が確実に行われるよう講じられている。	1級受検者には自動車運転免許証など本人と確認できる公的な証明書を受検時に持参することを求めている。他の級については今後の検討課題としている。	B	
		35	○試験当日、天災や交通機関の遅延等があった場合には、試験開始時刻の変更や再受検の容認など、受検機会が確保について配慮されている。	天災や遅延の程度を考慮して、開始時刻の変更や再受検の対応を行っている。	A	
		36	○ 障がい者について、検定試験の目的や内容、規模等に応じた一定の配慮が考慮されている。	障がいの程度を申込み時に確認して、なるべく多くの方が受検できる対応を行っている。具体的には、①車椅子での受検、②介添人の同伴許可、③検定問題の拡大、④障がいに応じた解答方式への対応、⑤試験時間の延長、⑥点字での受検などを行っている。なお、特別支援学校等での団体受検についても同様の対応を行っている。	A	
		37	【試験監督者の外部委託等を行う場合】 ○外部受託者等（法人・個人等）を総括する責任者が配置されている。	配置している。	A	
		38	【試験監督者の外部委託を行う場合】 ○受検手続きに関する共通理解を図り、円滑に試験監督業務を遂行できるよう試験監督者への説明・研修が実施されている。	統一の実施マニュアルを作成し、全国どの会場で実施しても同質の運営ができるようにしている。なお、検定日当日には研修を行い、指導を徹底している。	A	
		39	【児童生徒や学生を対象とした検定試験の場合】 ○受検者の利便性確保の観点から、公平性を保った上で、試験実施会場として学校や民間教育施設等が活用されている。【期待】	所属する学校や団体の施設内で、準会場として受検が可能。島嶼部や山間部など生徒数が少ない学校でも受検ができるように、実施条件を緩和するなどの措置を行っている。	A	
		40	【試験実施会場として学校や民間教育施設等を活用している場合】 ○公平性・公正性が確保（試験日、試験監督の体制、試験会場に試験に関する掲示物が無いか等）されている。	準会場での団体受検を行う場合、準会場実施規定を遵守する旨の申請書の提出を求め、公平・公正な実施を行うことを条件とし、違反した場合は、全答案を無効とするなどの厳しい措置をとることとしている。	A	
		41	○その他の特記事項等。	受検者アンケートを毎回実施し、次回実施の参考としている。	A	

大項目	中項目	小項目				中項目別実態・課題・改善の方向性等
			評価項目	実績・理由・特記事項等	評価	
３実施手続	③事後対応等	43	○試験結果に関する一般情報（受検者数及びその構成、合格者数、合格率等）が、適切に公開されている。	年間の受検者データ（級別の受検者数及びその構成、合格率、最年長と最年少合格者の年齢を実施開始から全て）を公式ホームページやパンフレットで公開している。 【受検者データ】https://www.newskentei.jp/a_data.html	A	今後も受検者や利用者のニーズ把握に努め、公開可能な情報提供を増やしていく。
		44	○受検者への学習支援の観点から、試験問題や正答が公開されている。 （ただし、試験の性質上、公開することができないものを除き、事後の作問等に影響を及ぼさない範囲で）	公開会場では、問題冊子を持ち帰ることができる（準会場では一旦回収後、後日返却）。正解と解説については、受検者全員が公式ホームページ上で閲覧することができる。また、希望者には郵送もしている。過去問題は、公式ホームページ上の「1日1問」やX（旧Twitter）の公式アカウントでも配信し、学習の支援につながるように活用している。	A	
４検定結果の活用促進	【評価の視点】 検定試験の結果が、学習成果を示す指標として社会に適切に評価され、実際に活用されるため、検定事業者等において活用促進に向けた適切な取組を進めていること。					
	検定結果の活用促進	46	○検定試験の結果を証明する合格証や認定証等が発行されている。	受検者全員に結果通知を発行し、合格者には合格証書を発行している。	A	今後も受検者や利用者のニーズ把握に努め、公開可能な情報提供を増やしていく。
		47	○合格証や認定証等が発行されている場合には、受検者が獲得した又は保持している知識・技能の内容が一見して判断し得る記載がある。	合格証書の画像が公式ホームページやパンフレットに掲載されている。また、合格証書には、氏名や合格日、合格回、合格級などの記載がある。 【実施要項・お申込み】https://www.newskentei.jp/i_apply.html	A	
		48	○試験結果の活用に係るニーズを把握するための取組（受検者や利用者（学校・企業等）に対するアンケート調査等）が行われている。	受検者へのアンケートは毎回実施、学校・企業等へのアンケートも定期的に実施している。必要に応じて面談調査やモニター調査等も行ない、活用に係るニーズの把握に努めている。	A	
５継続的な学習支援	【評価の視点】 受検者の継続的な学習を支援するため、検定事業者等において適切な取組を進めていること。					
	継続的な学習支援	50	○段階的・継続的な学習をサポートする過去問題、類似問題などの参考となる資料が提供されている。	出版物では、「公式テキスト」「問題集」を発売している。また、授業等で公式テキストを利用する学校向けワークシートを無料で提供している。なお、学校の教職員向けに、web上の無料サービスとして「月イチ時事サポート」を運営。ミニテストや時事解説など、指導者側が利用しやすい教材を提供している。	A	使いやすさに配慮した学習支援サービスになるよう、更に充実させていく。
		51	○学習意欲の促進のため、受検者の知識・技能レベルなどの情報を提供している。	結果通知には、領域別の正答率を記載（平成25年度から）し、問題別の正解・不正解と合わせて、弱点克服や今後の学習の参考となるような情報を提供している。	A	

大項目	中項目	小項目				中項目別実態・課題・改善の方向性等
			評価項目	実績・理由・特記事項等	評価	
6 情 報 公 開	【評価の視点】 学習者や利用者（学校・企業等）に対して、パンフレットやインターネット等を活用して、検定試験の実施主体や目的、内容、規模等に関する情報が公開されていること。					
	1 実 施 主 体	① 組 織	○実施主体の「組織」に関する情報が公開されている。	平成22年度以前のNPO法人の情報は内閣府の「全国特定非営利活動法人情報」に、平成23年度以降のNPO法人の情報は東京都の「法人団体詳細情報」に掲載されている。なお、共催する株式会社毎日教育総合研究所については公開していない。 【内閣府：https://www.npo-homepage.go.jp/portalsite.html】 【東京都：http://www.npo.metro.tokyo.jp/】 ■公開（□web、□ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ、□募集要項、■その他）…組織の理念・目的 ■公開（□web、□ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ、□募集要項、■その他）…組織規定（定款・寄付行為等） ■公開（■web、■ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ、□募集要項、□その他）…組織体制（組織図、役員構成、事務処理体制等） ■公開（□web、□ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ、□募集要項、■その他）…組織内容（事業計画書、事業報告書等） ■公開（■web、■ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ、■募集要項、□その他）…問合せ窓口（電話番号、電子メールアドレス等） □公開（□web、□ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ、□募集要項、□その他）…その他（　　）	A	学習者や利用者にとって、有益な情報を、更に公開するよう努める。
		② 財 務	○実施主体の「財務」に関する情報が公開されている。	平成22年度以前のNPO法人の情報は内閣府の「全国特定非営利活動法人情報」に、平成23年度以降のNPO法人の情報は東京都の「法人団体詳細情報」に掲載されている。なお、共催する株式会社毎日教育総合研究所については公開していない。 【内閣府：https://www.npo-homepage.go.jp/portalsite.html】 【東京都：http://www.npo.metro.tokyo.jp/】 ■公開（□web、□ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ、□募集要項、■その他）…財務経理情報（収支計算書、貸借対照表、財産目録等） □公開（□web、□ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ、□募集要項、□その他）…外部委託等の状況について □公開（□web、□ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ、□募集要項、□その他）…その他（　　） 【該当項目がある場合】 □公開（□web、□ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ、□募集要項、□その他）…検定事業とその他の事業との関係	A	
		③ 方 針 等	○実施主体の「情報公開や個人情報保護の方針等」に関する情報が公開されている。	個人情報の取り扱いについて、公式サイトで公開している。 ■公開（■web、■ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ、■募集要項、□その他）…情報公開の方針 ■公開（■web、■ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ、■募集要項、□その他）…個人情報保護の取組（方針等） □公開（□web、□ﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄ、□募集要項、□その他）…その他（　　） 【個人情報の取り扱いについて】https://www.newskentei.jp/privacypolicy.html	A	

大項目	中項目	小項目				中項目別実態・課題・改善の方向性等
			評価項目	実績・理由・特記事項等	評価	
６ 情 報 公 開	２ 実 施 内 容	① 目 的	○検定試験の「目的」に関する情報が公開されている。	公式サイト、パンフレット等で公開している。 ■公開（■web、■パンフレット、■募集要項、□その他）…検定試験の目的（コンセプト） □公開（□web、□パンフレット、□募集要項、□その他）…その他（　　） 【ニュース検定とは】https://www.newskentei.jp/a_index.html	A	必要な情報が適切に公開されているかを点検し、改善を重ねていく。
		② 内 容	○検定試験の「内容」に関する情報が公開されている。	公式サイトやパンフレット等で公開している。 ■公開（■web、■パンフレット、■募集要項、□その他）…検定試験の領域（分野） ■公開（■web、■パンフレット、■募集要項、□その他）…特色 ■公開（■web、■パンフレット、■募集要項、□その他）…検定試験の対象者（受検資格等） ■公開（■web、■パンフレット、■募集要項、□その他）…試験範囲 ■公開（■web、□パンフレット、□募集要項、■その他）…難易度（合格率等） □公開（□web、□パンフレット、□募集要項、□その他）…その他（　　） 【該当項目がある場合】 ■公開（□web、□パンフレット、□募集要項、□その他）…学校教育・職業能力との関係性 □公開（□web、□パンフレット、□募集要項、□その他）…学習指導要領等への準拠の有無 【ニュース検定とは】https://www.newskentei.jp/a_index.html 【検定内容】https://www.newskentei.jp/a_level.html 【実施要項・お申込み】https://www.newskentei.jp/i_apply.html 【入試評価優遇校】https://www.newskentei.jp/school_list.html	A	
		③ 手 段	○検定試験の「手段」に関する情報が公開されている。	試験問題の作成方法については公開していない。講座受講は受検に必須ではないので、公開していない。 ■公開（■web、■パンフレット、■募集要項、□その他）…検定試験の測定手法（筆記試験（多岐選択式、記述式等）、CBT試験、実技試験、面接試験等） ■公開（■web、■パンフレット、■募集要項、□その他）…審査・採点基準やその変更点 □公開（□web、□パンフレット、□募集要項、□その他）…試験問題の作成方法 ■公開（■web、■パンフレット、■募集要項、□その他）…合格点・設問別配点等 □公開（□web、□パンフレット、□募集要項、□その他）…講座受講の必要性及び関連情報（必要経費・受講時間数等） 【検定内容】https://www.newskentei.jp/a_level.html 【実施要項・お申込み】https://www.newskentei.jp/i_apply.html	A	

大項目	中項目	小項目				中項目別実態・課題・改善の方向性等
			評価項目	実績・理由・特記事項等	評価	
６情報公開	３実施手続	①事前準備	○検定試験の「事前準備」に関する情報が公開されている。	公式サイトやパンフレット等で情報を公開している。 ■公開（■web、■パンフレット、■募集要項、口その他）…受験手続（実施規則・要綱等） ■公開（■web、■パンフレット、口募集要項、口その他）…出願期間・出願方法 ■公開（■web、■パンフレット、口募集要項、口その他）…受検料及び受検料以外に要する費用（合格証や認定証の発行手数料、登録料等） □公開（□web、□パンフレット、口募集要項、口その他）…その他（　　） 【実施要項・お申込み】https://www.newskentei.jp/i_apply.html 【Ｑ＆Ａ】https://www.newskentei.jp/faq.html 【合格証明書発行・合格証書再発行手順】 https://moushikomi.newskentei.jp/mainichi/mnj/shomei/jp/shomei_top.jsp	A	検定日に不安や心配なく受検に臨めるよう、情報を適宜適切に公開していく。
		②試験実施	○検定試験の「試験実施」に関する情報が公開されている。	天災や交通機関の遅延等については、発生時の対応として公式サイトを使用することもあるが、状況や内容によって対応が異なるため、常時公開しているわけではない。 ■公開（■web、□パンフレット、口募集要項、■その他）…天災や交通機関遅延等への対応方針 ■公開（■web、□パンフレット、口募集要項、口その他）…障がい者への配慮措置 □公開（□web、□パンフレット、口募集要項、口その他）…その他（　　） 【公開例（新型インフルエンザの対応について）】 https://www.newskentei.jp/news/20091110.html	A	
		③事後対応	○検定試験の「事後対応」に関する情報が公開されている。	試験結果に関する一般情報は公式サイトやパンフレットを通じて公開している。試験問題と解答は受検者全員に、一般には過去問題の一部を公式サイトやX（旧Twitter）でも公開している。 ■公開（■web、■パンフレット、口募集要項、口その他）…試験結果に関する一般情報（受検者数及びその構成（年齢別、業種別等）、合格者数、合格率等） ■公開（■web、□パンフレット、口募集要項、口その他）…試験結果に関する一般情報（経年） ■公開（■web、□パンフレット、口募集要項、口その他）…試験問題と正答 □公開（□web、□パンフレット、口募集要項、口その他）…その他（　　） 【受検者データ】https://www.newskentei.jp/a_data.html 【模擬問題・過去問題】https://www.newskentei.jp/question_list.cgi 【解答発表】 https://moushikomi.newskentei.jp/mainichi/mnj/kaitohappyo/jp/kaitohappyo_control 【1日1問】https://www.newskentei.jp/index.cgi 【X（旧Twitter）公式アカウント】@news_kentei	A	
	４検定結果の利用促進	検定結果の利用促進	○「検定結果の利用促進」に関する情報が公開されている。	公式サイトやパンフレットを通じて、情報を公開している。 ■公開（■web、■パンフレット、口募集要項、口その他）　合格証や認定証等 ■公開（■web、■パンフレット、口募集要項、口その他）　検定試験の結果活用に関する情報（学校・企業等での利用状況、合格者の活躍状況等） □公開（□web、□パンフレット、口募集要項、口その他）　その他（　　） 【実施要項・お申込み】https://www.newskentei.jp/i_apply.html 【社会人・一般の方へ】https://www.newskentei.jp/d_careerup.html 【大学・短大・専門学校生の方へ】https://www.newskentei.jp/d_college.html 【高校生の方へ】https://www.newskentei.jp/d_high.html 【中学生の方へ】https://www.newskentei.jp/d_juniorhigh.html 【小学生の方へ】https://www.newskentei.jp/d_elementary.html 【学校・塾・企業など団体の方へ】https://www.newskentei.jp/d_corporate.html 【入試評価優遇校】https://www.newskentei.jp/school_list.html	A	効果的な利用の促進が図れるよう、改善を重ねる。
	５継続的な学習支援	継続的な学習支援	○検定試験の「継続的な学習支援」に関する情報が公開されている。	公式サイトやパンフレットを通じて、情報を公開している。 ■公開（■web、■パンフレット、■募集要項、口その他）…各級等の設定（上位級との関係等） ■公開（■web、■パンフレット、口募集要項、口その他）…過去問題・類似問題等の情報 ■公開（■web、■パンフレット、口募集要項、口その他）…必要となる学習内容、合格までの標準的な学習時間 □公開（□web、□パンフレット、口募集要項、口その他）…類似試験の有無や関係性・受検者（不合格者）の現状の知識 ■公開（■web、■パンフレット、口募集要項、口その他）…技能レベル ■公開（■web、■パンフレット、口募集要項、口その他）…関連する学習機会に関する情報 □公開（□web、□パンフレット、口募集要項、口その他）…その他（　　） 【公式教材・問題例】https://www.newskentei.jp/text.html 【検定内容】https://www.newskentei.jp/a_level.html 【実施要項・お申込み】https://www.newskentei.jp/i_apply.html	A	利用者に使いやすいサービスを提供できるよう、改善を重ねる。